

インマヌエル中目黒キリスト教会
2010年8月22日
聖日礼拝

1テサロニケ連講 ⑦

神の言として受け入れる

第一テサロニケ人への手紙

2章9-16節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

1 テサロニケ人への手紙2章9-16節

9 兄弟たち。

あなたがたは、
私たちの労苦と苦闘を
覚えているでしょう。
私たちはあなたがたのだれにも
負担をかけまいとして、
昼も夜も働きながら、
神の福音をあなたがたに
宣べ伝えました。

10 また、

信者であるあなたがたに対して、
私たちが敬虔に、正しく、

また

責められるところがないように
ふるまったことは、

あなたがたがあかしし、
神もあかししてくださる
ことです。

11 また、ご承知のとおり、
私たちは
父がその子どもに対して
するように、
あなたがたひとりひとりに、

12 ご自身の御国と栄光とに
召してくださる神に
ふさわしく歩むように勧めをし、
慰めを与え、
おごそかに命じました。

13 こういうわけで、
私たちがとしてもまた、
絶えず神に感謝しています。
あなたがたは、
私たちがから神の使信のことばを
受けたとき、
それを人間のことばとして
ではなく、
事実におりに神のことばとして
受け入れてくれたからです。
この神のことばは、
信じているあなたがたのうちに
働いているのです。

14 兄弟たち。

あなたがたはユダヤの、
キリスト・イエスにある
神の諸教会に
ならう者となったのです。
彼らがユダヤ人に苦しめられた
のと同じように、
あなたがたも自分の国の人に
苦しめられたのです。

15 ユダヤ人は、

主であられるイエスを、

預言者たちをも殺し、

また私たちをも追い出し、

神に喜ばれず、

すべての人の敵となっています。

16 彼らは、
私たちが
異邦人の救いのために
語るのを妨げ、
このようにして、
いつも自分の罪を
満たしています。
しかし、
御怒りは彼らの上に臨んで
窮みに達しました。

説教

第一テサロニケ 連講⑦

「神の言として受け入れる」

1 テサロニケ **2章9-16節**

竿代 照夫 牧師

主「テキスト：
あなたがたは、
私たちがから神の使信のことばを
受けたとき、
それを人間のことばとして
ではなく、
事実どおりに神のことばとして
受け入れてくれたからです。
この神のことばは、
信じているあなたがたのうちに
働いているのです。」
(1テサロニケ2:13)

A. 伝道者の生活と教え (9-12節)

1. パウロの働き：自給伝道
(9節)

2. パウロの振る舞い：
敬虔に、正しく、また責めなく
(10節)

3. パウロの勧告：
個別的な勧め、慰め、命令
(11-12節)

B. テサロニケ人の素直な応答 (13節)

1. パウロを通しての神の使信
(13節a) :
(2 : 9、1 : 5)

2. テサロニケ人は
「神の言葉として」受容
(13節b)

例：4つの土壌(イラスト参照)



3. 生きて働く神の言葉

(13節c)

C. テサロニケ人の受けた迫害 (14-16節)

1. 同国人による迫害(14節)

2. ユダヤ人の罪と裁き(15-16節)

おわりに：

みことばと私との関係を考えよう